

報恩講法要

2022.10.26(水)

講師 安方 哲爾 師

講題 常行大悲の益



報恩講とは、親鸞聖人のご遺徳を偲び讃える法要です。阿弥陀さまのすべての人々を救うというご本願を私たちにわかりやすく伝えて下さったのが宗祖親鸞聖人です。

親鸞聖人のご遺徳を偲び、阿弥陀さまのおはたらきに感謝して、浄土真宗との出遇いを深めて参りましょう。



今年も御法中の出勤は見合わせることに致しました。院主と若院主の内陣出勤で、奉讃大師作法のおつとめをしました。その後は『御俗姓^{ごぞくしょう}』の拝読です。

『御俗姓』とは蓮如上人が親鸞聖人の御生涯や信心をいただくことの重要性を記された書物です。



右の軸は『御絵伝』です。

親鸞聖人の御生涯が絵で表され右より1幅～4幅となり、下から上へと仰ぎ見るように描かれています。





阿弥陀さまに救われ念仏する者は人を教化しようという気持ちがあっても無くても人を念仏する身にする利益のことを「常行大悲の益」と言います。

私たちは阿弥陀さまが必ず、そのままのあなたで救うと願われた身であります。その恩に気づき感謝することが大切です。お念仏申し、生かされたこのいのちを丁寧に生きてその姿を見てもらい、お念仏相続していくことが浄土真宗の教えをお聴聞する私たちの生き方であるとお聞かせ下さいました。



爽やかな秋晴れに、多くの方が御参詣下さいました。安方先生の聞きやすいお話に皆さん一生懸命に耳を傾ける姿に報恩講の意味を味わわせていただいたご縁でした。有難うございました。